

校 報

# ましみず

4月号  
掛合小学校  
平成21年4月発行

## 平成二十一年度始まる

今年の桜は例年よりも開花が早く、始業式や入学式の頃には葉桜かとも思われましたが、花冷えが続いたお陰でしょうか、新年度の始業式(四月八日)、入学式(四月九日)には、ちらほらと散り始めた校舎前の桜が、進級した二年生以上の子どもたち、入学した一年生の子どもたちを祝っているかのようでした。

四月八日(水)には、進級した子どもたちが明るく意欲満々の表情で登校してきました。昇降口の靴入れも、教室も変わりました。進級したこと、の証です。中には、体が覚えていたのでしょうか、昨年の教室に入った子もいました……。

始業式では、子どもたちに望む三つのことを話しました。一つは、「明るくて元気のよいあいさつと返事ができること」、一つは、「勉強する力をつけること」、一つは、「相手のことを考えて行動できること」です。この中の「勉強する力をつけること」は、学習によって身に付く知識や技能はもちろんのことですが、学習に向かう意欲や学習の仕方、取り組み方も含めるものとして考えています。四十五分間の学習を大切にすることについては、別の段で述べたいと思います。

年度末に二名の転出(岩本春稀さん、横田結子さん)があり、年度初めに一名の転入(森山凌央さん)第六学年)がありました。新入生二十三名

を加えて、今年度は百七十名での船出となりました。本校の教育活動に対して、昨年度同様のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## かわいい一年生が入学しました



写真は、4月15日の記念写真撮影の際のもので。男子14名、女子9名。入学式の翌日の10日からは、早速給食も始まりました。保育所と少し異なる給食を食べた感想を聞いたところ、「とてもおいしい。」と好評でした。中には「保育所ときは、野菜がきらいだったけど野菜が好きになったよ。」と、頼もしい答えもありました。落ち着いた態度で、学習に取り組み、20日から始まった新掃除場所での掃除もがんばっています。

これ以上の日和はないぐらいの天候に恵まれて、二十三名の新入生を迎える入学式を、四月九日(木)に行いました。晴れ晴れとした、にこやかな表情で、保護者の方と共にひらひらと散る桜

をくぐる姿は、まさに日本の小学校の入学式という感じでした。



写真右：式では、来賓の掛合総合センター長板垣千代司様から市長メッセージ、PTA会長藤原博様からお祝いのことばをいただきました。2年生がお迎えのことばを述べ、在校生もみんな「はじめのいっぴ」を歌って新入生を励ました。

写真左：新掛合小学校後援会様から開校記念として寄贈された玄関幕を張って、新入生を迎えました。



今年度の教育活動の基本方針をお伝えします。  
 昨年度と大きく変わることはありませんが、昨年度の「受容と協調」から「学力保障」へ焦点をシフトします。

**教育目標**

『ふるさとを愛し 豊かな心と健康な身体をもち 自立して生きていくことができる子どもの育成』

**めざす学校像**

- ◎ 微笑みあえることを喜びとする学校
- ◎ 明るさと温もりのある学校
- ◎ 落ち着きとけじめのある学校
- ◎ 地域に開かれた学校

**めざす子ども像**

- ◎ よく考え自ら学びとる子
- ◎ 明るく元気な子
- ◎ やさしく思いやりのある子
- ◎ ねばり強くやりぬく子

**経営方針** (努力目標)

旧五校の伝統を継承し、敬愛と信頼の人間関係を基盤にして、温かさと躍動感に満ちた新しい掛合小教育を創造する。それぞれの教育活動について、その意義と目標を明確にして実施するとともに、評価を適切に行い、次年度以降に継承していく。

- (1) これまでの五校の教育の中で培われた郷土愛をさらにふくらませながら、新しい校風の創造に向かって力を結集する。
- (2) 「地域で育てる掛合の子」をめざし、家庭、地域との連携を密にするとともに、開かれた学校づくりを推進する。

ふるさと教育、学校支援地域本部事業、地域の動きに配慮した行事予定、スホ少との連携、子ども読書活動推進事業モデル校事業などの取組。  
 生きる力の育成を図るため、調和のとれたゆとりのある教育課程を編成し実施するとともに、雲南市キャリア教育推進プログラムの効果的な実施を行う。

授業時数の確保にあたって、学校行事等の諸活動の設定について大胆な見直しを行うとともに、前年度と今年度との評価に基づき、二十二年度以降の本校教育課程が盤石のものとなるように工夫を凝らし、改善のための努力をする。  
 ・ 豊かな学力の育成を図るとともに、豊かな心、健康な身体を育てる調和のとれた教育を推進する。  
 【体験的活動Ⅱ集団による思考の深まり、表現活動、見学・巡検・聞き取り活動、算数的活動、実験・観察活動等の重視】

(4) 生命と人権を尊重し、互いに認め合い励まし合う潤いのある学校を実現するために、人権・同和教育を教育活動の基底に据える。

(5) 掛合保育所、掛合中学校、三刀屋高校掛合分校との連携の中で、児童・園児・生徒が共に高まり、互いに尊重しあう「さなが教育ゾーン構想」の実現に向けて努力する。

(6) 微笑みあえることが喜びとなるように、温かく豊かな教育環境づくりを行うとともに、薫陶作用を意識した学校生活を展開する。

(7) 巡る季節の中で、潤い、気品、品格、格調、風情、五感に働きかける「率先垂範 子弟同行」組織力で子どもを育てるとともに、連携によって充実・発展する雲南市教育を志向する。  
 企画会議、職員会議をはじめとする各種委員会会議や班会を中心とした機動的な取組。雲南市教育委員会、雲南市教育研究会等との連携。



**教育活動の重点**

(1) 「ことばの力」を高め、主体的に学習する子どもの育成をめざした授業の構築。

◎ 基本的学習展開の確立と学年段階に応じた学び方の習得。  
 ◎ 学習意欲の喚起、向上のための学習材、評価の工夫。

(2) 学び合い高め合う集団づくり。  
 ◎ 一人ひとりの実態に応じた支援の工夫。  
 ◎ 豊かな生き方を希求する教育の推進。

◎ ふるさとの温もりに接しながら、心と体で学ぶ「ふるさと学習」の展開。  
 ◎ 一人ひとりを大切にし、人間としての生き方を問う人権・同和教育の充実。

◎ 道徳の時間を要とし、各教科等との関連で深める道徳教育の充実。  
 (新しい学習指導要領において特に強調されている「道徳教育と各教科の特質に応じた適切な指導」についての配慮など)

◎ 二十一世紀を豊かに生きるための環境教育、情報教育、福祉教育、国際理解教育、キャリア教育、食育、外国語活動の推進。  
 ◎ 豊かな情操を育む美しくくうるおいのある環境づくり。

(3) 健やかな心身の育成。  
 ◎ 運動のできる機会の保障による体力づくりの推進。

◎ 自己管理能力・自己防衛能力の向上をめざす健康安全教育の充実。

(4) 生徒指導の充実・強化。  
 ◎ 児童理解に立った支持的・受容的な生徒指導の充実。

◎ お互いの存在を尊重し認め合う、望ま



い人間関係の育成。

○ 一人ひとりが存在感を味わい、自己決定をする場の保障。

○ 望ましい習慣の形成のための、一貫性のある指導。

今年度は、昨年度に引き続き支援員菅野幸子さん、地域コーディネーター今村美保さんにお世話になります。

さらに、これまで中学校配置であった教育支援コーディネーターが掛合地区、加茂地区においては小学校配置となったため、掛合地区では本町出身の堀江亮次さんがその任に当たられることになり、デスクが小学校の職員室に置かれました。堀江CNさんには、掛合地区における教育（学校教育・社会教育・家庭教育）の振興のために、コーディネーターとして大いに活躍していただきたいと願っています。

また、島根県の「学びの場を支える非常勤講師配置事業」で一名の講師配置があります。（五月一日から掛合町在住の方に来てもらう方向で調整中。）その上に、島根県子ども読書活動推進事業のうち、雲南市が実施する学校図書館司書配置モデル校に本校が指定され、学校司書も配置されることになりました。（実際の勤務は連休明けからの予定。）

このように、今年度の掛合小学校は各種事業等の実施による人的配置が重なり、よりパワーアップします。

### 着任のごあいさつ



狩野千歳

この春、出雲市立荒木小学校から赴任してまいりました狩野千歳（かりのちとせ）と申します。赴任早々、掛合小学校はすてきな学校だなあと感じるこの連続です。

子どもたちののびやかな歌声、元気のよい挨拶、下級生をいたわるやさしい上級生と安心して甘える下級生、きびきびと働く掃除の姿、あたたかく声をかけてくださる地域の方々・・・まだまだいっぱいあって、ここには書ききれないくらいです。

こんなすてきな掛合小学校に勤めることができることを本当に幸せに感じています。

気持ちにはピカピカのはりきり一年生です。早く子どもたちのこと、地域のことを知り、がんばりたいと思います。どうぞよろしく願っています。



白井 希

今年度、新規採用で掛合小学校に赴任してきました養護教諭の白井希です。

卒業後は、幼稚園、特別支援学校に勤め、昨年は看護師をしておりました。初めての小学校勤務に、毎日ドキドキしています。掛合小学校の校歌を聞いた時、子どもたちの真つすぐで元気な歌声に胸がいっぱいになりました。この学校で、子どもたちと一緒に生活できることを楽しみにしています。養護教諭として、子どもたちが健康で安全に過ごせるようお手伝いしていきたいと思っています。

心も体も元気が一番！！保健室は子どもたちの休憩所だと思っています。疲れた時はちょっと休憩して、また元気に活動できるように関わっていききたいと思います。

微力ではありますが、精一杯頑張りますのでよろしく願います。



高垣恵子

今年度、掛合小学校でお世話になることになりました高垣恵子と申します。

毎朝学校に来ると、子どもたちの明るい笑顔、気持ちのよい挨拶で私の一日が始まります。寝不足でも、筋肉痛でも子どもたちに会うと元氣百倍です。朝から下校するぎりぎりまでたくさん話しかけてきてくれるので毎日幸せです。どのような話をするかという、私よりも掛合小学校のことが詳しいので学校の良い所や五つの地区の伝統についてです。まだまだ始まったばかりで分からないこともありますが、子どもたちからたくさん学ぶ、共に成長できる一年にしたいと思っています。どうぞよろしく願います。





伊藤啓太

今年からお世話になることになりました、伊藤啓太と申します。

今年の春、埼玉の大学卒業し島根に帰って参りました。私の教師生活が、元氣いっぱい活気に溢れた子どもたちと、素敵な自然に囲まれているこの掛合小学校でスタートできることを大変嬉しく思います。今年度は専科担当として、いろいろな学年に出かけていきます。いろいろな学年の子どもたちと触れ合えることが、すごく楽しみです。

私は小学校から高校まで野球、大学ではフットサル(サッカー)をやっております。子どもたちともいろんなスポーツをして、いっぱい汗をかきながら、多くの子どもたちと触れ合えたらいいなと思います。生まれも育ちも雲南市加茂町です。掛合のことは知っているようで知らないことがたくさんあります。これから掛合のいいところをたくさん学んでいこうと思います。どうぞよろしくお願ひします。



堀江亮次

四月の人事異動で、教育支援コーディネーターとして掛合中学校区を担当することになりました。三月までは市役所の方で学校教育の関係の仕事をしていました。これまで、教育支援コーディネーターは中学校にいらっしゃるということが定着しつつありましたが、本年度から小学校の方に席をおいています。仕事内容については、これまで同様、掛合地域の子どものための支援や学校現場と教育委員会との橋渡し等が仕事となります。

教育支援コーディネーターという仕事自体なかなか仕事内容が見えにくい面が多いですが、学校現場を陰ながら支援できるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。



朝の読み聞かせ  
ほほえみタイム

今年も金曜日の朝に、朝読書の時間(ほほえみタイム)を設けました。

この時間帯には、これまでのように一年生から三年生までは、ほほえみタイムボランティアの皆さんによる読み聞かせをしていただきます。(左写真：第一回四月一七日 小川さん)



☆ 軍手袋人形の寄贈

図書室のマスケットにと、上佐中にお住まいの藤原千代江様から、かわいい動物の軍手袋人形をいただきました。近日中に、図書室にお目見えの予定です。



この季節の烏帽子山連山の姿は、絶景です。桜の幹越しに見える柔らかな山肌は、見ていて飽きません。お時間があればお出かけください。



放課後の練習には、5、6年生全員が参加します。スクールバスの関係で時間は50分ぐらいしかとれませんが、中身の濃い練習です。今年も、杉原秀雄さんに指導に入っていただいています。また、スクールバスは課外活動対応臨時便が運行されます。

雲南市陸上競技大会に向けた練習も始まりました